



野辺地高等学校だより

12月号

避難所運営訓練 I ～野辺地町防災総合訓練～

10月28日(火)、本校第二体育館を会場に町の自治体、役場、自衛隊、消防と連携した避難所運営訓練が行われました。本校の生徒は、体育館に避難スペースを設定し、毛布やベッドを設置するなど、避難者が安心して過ごせる環境づくりを体験しました。さらに昼食には備蓄食料であるカレーとα米を試食し、災害時の食事を実際に体験しました。生徒からは、「思ったより美味しかった」「災害時にこうした食事が支えになることを知った」「実際にやってみることで避難所の大変さを知った」との声が聞かれました。今回の訓練を通じて、生徒たちは防災意識を高めるとともに、避難所運営が命と生活を守るための欠かせない備えであることを学び、地域と協力して安全を守る大切さを実感しました。



避難してきた町民



テント作り



野村秀雄 町長



ベッド作り



備蓄食料っておいしいかな？



昼食はカレー&α米

避難所運営訓練 II ～避難所運営ゲーム(HUG)～

10月16日(木)、災害時に避難所を円滑に運営するための訓練として「HUG」を実施しました。「HUG」とは「避難所運営ゲーム(hinanzyo unei game)」の略で、カードを使って避難者の年齢、性別などの状況や課題をシミュレーションし、避難所の運営を体験的に学ぶ防災教育プログラムです。生徒たちはグループごとに分かれ、体育館を避難所に見立てて運営を開始。「高齢者が到着」「ペットを連れた家族が来た」などのカードが次々と提示され、平面図を使いどこに配置するか、どのような支援が必要かを話し合いました。車椅子利用者や乳幼児を抱えた家庭など、配慮が必要なケースも多く、グループごとに工夫を凝らして対応しました。



体調が悪い人はどうする？



盲導犬はやっぱりこっちな



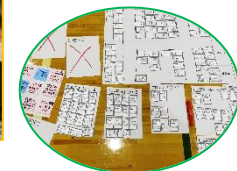
旅行者、男女は分けた方がいいよね

《避難所運営ゲーム事後アンケート より》

- 自分がもし元気なまま避難できた場合は、ボランティアとして頑張りたい。
- 自分の命を守りつつ、子どもやお年寄りの方などへの配慮を忘れないようにしたい。
- 難しかったけどゲーム形式で学べて楽しかった。
- 色々な人に配慮したり、すぐに判断して場所を決めたりすることは大変なことだと感じた。



情報は掲示板で共有しないね



令和7年度

青森県立野辺地高等学校は創立100周年です

← HP
ご覧になれます

つなぐ100年の歴史無限に広がる新たな未来